



ROTARY

ソフトウェア ユーザー マニュアル

Software Version 1.0
JP 170325

ソフトウェア使用許諾 (EULA)

以下の規約を理解、承諾するまで、本製品の使用はお控えください。
本製品をお客様あるいはお客様が許可した方が使用することは、本規約に同意したことになります。

本エンドユーザーライセンス規約(以下"EULA"または"本規約"といいます)は、お客様とUVI(所在地:159 rue Amelot, 75011 Paris - France)の間で交されるUVIの作成したソフトウェア、書類およびその他のマテリアルの使用に関するライセンス規約になります。

本規約に同意しない場合は、直ちにUVI製品(以下"本製品"と呼ぶ場合もあります)の登録、インストールもしくは利用を中止してください。

UVI製品の使用、あるいは第三者に使用許諾をした場合、本規約に同意するものとします。

A- ライセンス許諾

- UVIは以下の利用規約に基づき、お客様に本製品の非独占オーソライズドコピー使用権を許諾します。
- UVI製品のライセンスはシングルユーザーライセンスです。お客様の所有するコンピュータまたはiLokドングルに最大3台まで認証して使用することが可能です。
- ソフトウェアライセンスでは、第三者への賃貸または貸与する権利はありません。これらの行為は禁じられています。
- 本規約は、別項で記載する規定に該当しない限り、ソフトウェアライセンスを第三者に移譲、再販することが可能です。その際、iLokアカウントから"Transfer License"の手続き申請を行い、iLokライセンス管理をするPace社にライセンス移行手数料(ライセンスごとに25米ドル、最大50米ドル)を支払います。その後、同社からの依頼を受けてUVIの承認と譲渡先へのシリアル移行を取り仕切ります。移譲後、元のライセンス登録は削除されます。iLokへの申請手続き、連絡は英語でおこなえます。
- バンドルで入手した個々の製品、あるいは他の製品へのアップグレードやクロスグレードに使用した製品の再販およびライセンス移譲の認可はありません。
- 購入された製品に含まれているサウンドやサンプルは、追加ライセンス料の支払いやUVIへのソースアトリビュションを提供することなく、商用の制作、録音物に使用できます。
- 本規約は、再販もしくは配布利用の為に本製品を使用することを禁じます。その範囲は、他のディスクやデバイスに収録、再フォーマット、ミックス、混合、フィルター、再合成に及びます。サウンド、マルチサウンド、サンプル、マルチサンプル、ウェーブテーブルに組込むための編集行為、サンプラーやマイクロチップなどソフトウェア、ハードウェアを問わず、全てのサンプル再生装置のためのプログラムやパッチ編集も禁止事項に含まれます。本製品を他者が利用するサンプリングまたはサンプル再生デバイスの為の販売、あるいは配布することは出来ません。
- ライセンス違反が認められた時点で、本契約は終了します。その場合、コピーを含め、全てのUVIソフトウェアとドキュメントを速やかにUVIに返還しなければなりません。
- UVIの保有する全ての権利は、本書で明示していません。

B- ライセンス認証

- UVI製品の使用にあたり、シリアル番号の登録(uvi.net/register)とデバイスのライセンス認証が必要です。UVIは、製品のライセンス認証にPace AP社のiLokシステムを採用しています。認証にiLokアカウントの取得とiLok License Manager(いずれも無料)も必要です。iLokアカウントは、シリアル番号登録時にUVIウェブサイトを通じて取得できます。iLok License ManagerはUVI WorkstationやFalconとともにインストールされます。UVI製品は、未登録、未認証の状態で使用することはできません。
- 製品シリアル番号の登録をする際、UVIデータベース上に登録されたお客様の姓名、メールアドレス、住所が必要です。未登録の場合、UVIアカウントを作成します。UVIは128ビット暗号化されたSSL接続の最新の通信保護規格を採用しています。お客様からの情報をウェブ経由で安全に当社サーバーに送ることが可能です。UVIの個人情報に関する扱いについてはこちらをご覧ください:<https://www.uvi.net/privacy-policy>
- UVI製品のライセンスは、最大で3つのiLokドングルもしくはコンピュータに認証して同時使用が可能です。ライセンス認証と解除は、専用ソフトウェアのiLok License Managerを通じて行います。

C- ソフトウェアの保護

お客様は、本製品にコピープロテクションが使用されていること、本製品を利用するにあたってコピープロテクションに関する操作を行うことに同意するものとします。お客様は、UVI によって実装されたコピープロテクション技術の回避、改造あるいは変更を加えないことにも同意するものとします。

D- 所有権

本製品の所有権、封入されているデジタル記録された音の権利は、(いかなるコピーも)UVIによって保持されます。本製品のコピーは、本規約に基づいてお客様に提供されます。本製品のライセンス(ソフトウェアを利用する権利)のみがお客様によって購入されたものです。

E- 契約期限

この合意による契約期限は、本製品のパッケージの開封あるいは使用を開始し、終了するまで有効です。お客様がこの期限条件内に何かを破棄した場合、この契約は終了します。終了に際して、UVI に本製品のコピーおよび関連書類をすべて破壊し返却することで、契約の終了に同意するものとします。

F- 規制

本契約に基づく許可される場合を除き、本製品および関連書類の販売、リース、賃貸、ライセンス許可、配布、転送、複製、再プロデュース、公開、改造もしくはタイムシェアは禁じられています。

G- NFR(転売不可)シリアルと無料製品

シリアル番号に"NFR"の記載があるUVI製品のライセンス(以下"NFR"といいます)は、デモ、テストあるいは評価利用のために用意されています。NFRは商用利用不可で、転売、移譲をすることはできません。NFRにはアップグレード、クロスグレードなどの特別セールオフアーから除外されます。同様に関連したバウチャー(割引券)の発行を受け取ることもできません。さらにNFRの所有者は、商用バージョンの製品に同梱されているバウチャーを受け取る権利もありません。

無料製品はUVI、あるいはUVIと提携する第三者がプロモーション目的など、製品バンドル等の方法によって無料配布された製品(ライセンス)を指します。無料製品は商用バージョンと同様、商用利用可能ですが、NFRライセンスと同様、転売、移譲をすることはできません。また、認証デバイスの破損等に関するライセンス復帰の対象外にもなります。"NFR"と記載された無料製品のライセンス規約は、無料製品の規約が優先されます。

H- サポート責務の免除

UVIは可能な限り、製品使用のための技術的な問題解決に努めます。ただし、UVIは追加情報、ソフトウェア、技術情報、ノウハウ、サポートを提供したり、利用できるようにする義務を負いません。

I- 仕様とシステム条件

本製品の技術仕様は、推定あるいは近似値で記載している場合があります。環境が千差万別であるため、これらの値は目安であり、互換性や動作を保証するものではありません。UVIは動作に必要な条件をすべてウェブサイト記載しています。エンドユーザーは、製品の購入前にエンドユーザーのデバイスがUVI製品のシステム条件を満たしていること、および該当製品がエンドユーザーの要件を満たしているを確認する責任を負います。

本規約はフランス共和国の法律に基づいて制定されています。解釈をするにあたって、英語版のEULAを使用します。

©2017 UVI. All rights reserved.

全ての登録商標はその権利帰属者の所有物です。

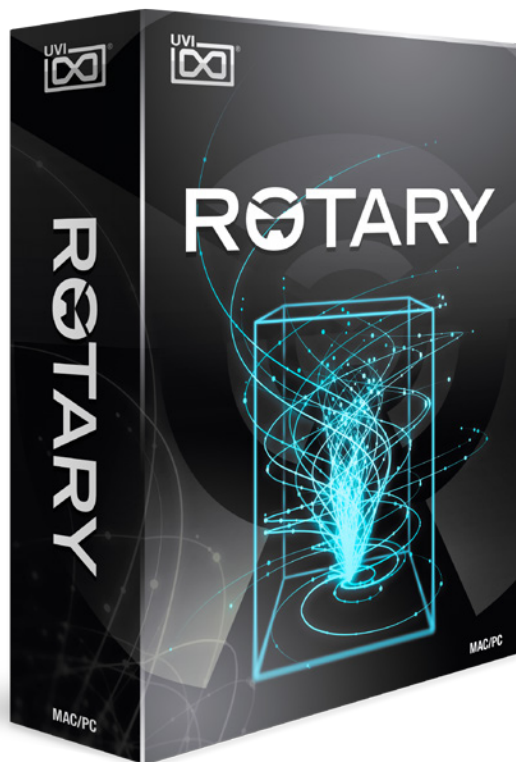
目次

イントロダクション	4
システム条件	5
操作画面	
メイン	6
バックパネル	7
リンク	8
クレジットと謝辞	9

ROTARY



イントロダクション



Rotary

ロータリーサウンドの進化

概要

1940年代に誕生したロータリースピーカーキャビネットは、回転式のドラムウーハーとホーンツイーターによるドップラー効果が特徴でした。この構造による倍音、そしてトレモロやビブラート効果はサウンドに豊かさや幻想的な印象をもたらします。この革新的なスピーカーはすぐさま、ジャズオルガン奏者に広まり、やがていまではブルースやロックレジェンドと称されるミュージシャン達にも普及されていきました。Buddy Guy、Jimi Hendrix、Robin Trower、Pink Floyd、The Beatles... そしてこの巨大な装置をによる効果を再現すべく、多くのギターストンプメーカーからこの効果のエフェクトがリリースされました。

しかしこの特徴的な効果はハードウェア、ソフトウェアに関わらず、これまで実機を超える存在は誕生しませんでした。Rotaryはモダン技術の粋によってこの難関に挑戦した結果です。現代のアーティストとプロオーディオエンジニアのためにオリジナルキャビネットの特徴と魅力を忠実に再現し、メンテナンスフリーで、多様性と高いカスタマイズ性を持ったミュージックツールとしてRotaryを完成させました。シンプルで直観的な操作画面は効率の良いワークフローとインスピレーションの刺激を両立しました。高精度のステレオマイクポジショニング、豊富に用意されたバックパネルコントロールを装備し、これまでにない多彩なサウンド効果を思いのままにします。そのため、Rotaryは一般的に用いられるオルガンやギターのみならず、その他の楽器やボーカルにも効果的です。倍音を強調し、聴覚を刺激する奥深いサウンドムーブメントをもたらします。

アプローチ

ロータリースピーカーの音色は、様々な要素によって完成されます。キャビネット、ホーン、ドラムスピーカー、モーター、ベルト、アンプそして箱鳴りが複雑に作用してその特徴的な効果が生まれます。魔法に等しいその絶妙な組み合わせと作用が、ロータリーエフェクトの完全再現の障壁でもありました。UVIはこれらの要素の一つ一つ丹念に研究し、まず完全再現を目指しました。しかし、ゴールはそこではありません。内部構造をすべて独立コントロール可能にし、このことによって、実機を超えたエフェクト効果を実現することに成功しました。

Rotaryのベースモデルは一つではありません。高精度にフィジカルモデリングされたキャビネットを複数用意しています。どのモデルも電氣的、そして音響的な特性、特徴を丹念に再現されています。周波数特性、ハーモニックディストーション、反響や音波の拡散など、何度もテストと修正を重ねた結果がRotaryです。さらにアルゴリズム演算の最適化を図り、その性能からは想像できないほど、驚異的な低CPU負荷とシステム条件を可能にしています。

造像を超えたロータリーエフェクト、革新的な効果

Rotaryはビンテージエフェクト効果を現代的なコントロールでの操作を可能にしたプラグインエフェクトです。そして、実機では不可能な効果や、思いのままの設定も実現します。洗練されたエンジンによって、直観的かつ深いコントロールを効率の良いワークフローでおこなえます。一般的なオルガンやギターだけではなく、様々な楽器、そしてボーカルにもぜひご利用ください。Rotaryはロータリーエフェクトの新たな一歩を刻む、伝統と革新を両立したプラグインです。

システム条件



互換性

AU/VST/AAX 対応の DAW

動作検証済みのDAW:

Digital Performer 8以降、ProTools 11以降、Logic 9以降、Cubase 7 &以降、Nuendo 6以降、Ableton Live 8以降、Studio One 2以降、Garage Band 6、Maschine 1 & 2、Tracktion 4以降、Vienna Ensemble 5、Reaper 4以降、Main Stage 3、MuLab 5.5以降

最低システム条件

- ▶ Mac OS X 10.7 以降 (64-bit / 32-bit 対応)
- ▶ Intel プロセッサ、4GB RAM



互換性

VST/AAX 対応の DAW

動作検証済みの DAW :

Digital Performer 8 以降、ProTools 11 以降、Cubase 7 以降、Nuendo 6 以降、Ableton Live 8 以降、Studio One 2 以降、Maschine 1 & 2、Tracktion 4 以降、Vienna Ensemble 5、Reaper 4 以降、MuLab 5.5 以降、Sonar X3 以降、Ability

最低システム条件

- ▶ Windows 7 以降 (64-bit / 32-bit 対応)
- ▶ Intel プロセッサ、4GB RAM

iLokシステムによる柔軟なライセンス認証



UVI製品のライセンスは、コンピューター、iLokキー問わず、合計3つのデバイスに認証して同時に使用できます。
ライセンスの管理と認証は専用のソフトウェア iLok License Manager 上で簡単におこなえます。

操作画面 - メイン



1 ▶ メニュー

マウスクリックすることで、プリセットに関するメニューが表示されます。

- ▶ Rotaryプリセットの読み込みと保存をします。
ロード (Load) を選択するとコンピューター内にあるプリセットを開くことができます。
セーブ (Save) を選択すると現在の設定を保存することができます。
- ▶ Factory Presets (ファクトリープリセット)
UVIが予め用意されたプリセットの選択と読み込みをします。
- ▶ User Presets (ユーザープリセット)
デフォルトの場所に保存されたユーザープリセットの選択と読み込みをします。

2 ▶ プリセット名

プリセット名を表示します。

3 ▶ A/B比較

設定のスナップショットを一時記憶し、効果の比較に使用します。

- ▶ 最初のクリック
現在の設定をスナップショットAとして記憶します。
- ▶ その後のクリック
スナップショットAとその後設定した状態 (スナップショットB) の切替をします。

4 ▶ ツールチップス

マウスカーソルを置いた (マウスオーバーした) パラメーターに関する情報 (英語) を表示します。

5 ▶ バックパネル

オプション設定画面を開きます。

6 ▶ レベルメーター

入力 (左) と出力 (右) レベルを表示します。

7 ▶ マイクポジション

マイクアイコンのドラッグでそのポジションを設定します。画面上のパラメーター値はこの設定と連動します。

8 ▶ マイクとキャビネット設定

- ▶ MODEL (モデル)
キャビネットモデルを選択します。
- ▶ DISTANCE (ディスタンス)
マイクとスピーカーキャビネットの距離を設定します。(0.1 ~ 2m)
- ▶ WIDTH (ウイDS)
2つのマイク間隔 (開口角) を設定します。(±180度)
- ▶ ANGLE (アングル)
キャビネットに対するマイクの設置角度を設定します。(±100%)
- ▶ SKEW (スキュー)
マイクポジションの非対称率を設定します。(±100%)

9 ▶ ロータリー設定

- ▶ SPEED (スピード)
スピーカーの回転速度を設定します。
CHORALE (コーラル) = スローモード
BRAKE (ブレーク) = 停止
TREMOLLO (トレモロ) = ファーストモード
- ▶ CHORALE (コーラル)
低速モードの回転速度を設定します。(0.1 ~ 3kHz)
- ▶ TREMOLLO (トレモロ)
高速の回転速度を設定します。(3 ~ 10kHz)

10 ▶ アンプ設定

- ▶ DRIVE (ドライブ)
アンプの入力ゲインを設定します。全体サチュレーションと偶数/奇数倍音効果をコントロールします。
- ▶ HORN (ホーン)
ホーンスピーカーの音量を設定します。
- ▶ DRUM (ドラム)
ドラムスピーカーの音量を設定します。
- ▶ GAIN (ゲイン)
出力ゲインを設定します。

操作画面 - バックパネル



1 ▶ 設定 (SETTINGS)

- ▶ **Spherical Dampening (スフィリカルダンピング)**
距離変化によって発生した反射音のアッテネーション量を設定します。
- ▶ **Drive Preemphasis (ドライブプレエンファシス)**
アンプドライブ前段に適用されるプリエンファシス量を設定します。
- ▶ **Reflection (リフレクション)**
スピーカーキャビネット内の反射音の吸収量を設定します。
- ▶ **Order (オーダー)**
初期反射音数を設定します。設定値が0の場合、シンプルでダイレクトなビブラート/ドブラー効果を演出し、設定値が高くなるほど、より複雑で広がりのあるコーラス効果が強くなり、音像もぼやけます。
- ▶ **Radius (ラディウス)**
ホーンとドラムスピーカーのサイズを設定します。
- ▶ **Delay Compensation (ディレイ補正)**
マイクポジションによるディレイを補正します。

2 ▶ 箱鳴り (BOX DIFFUSION)

- ▶ **Power (パワー)**
箱鳴り効果のオン・オフをします。
- ▶ **Level (レベル)**
箱鳴り効果の量を設定します。
- ▶ **Type (タイプ)**
スピーカーキャビネットの種類を設定します。(Closed = 密閉型、またはOpen = 開放型)

3 ▶ ホーン設定 (HORN)

- ▶ **Acceleration Time (アクセラレーションタイム)**
ホーンスピーカーの回転加速時間を設定します。
- ▶ **Deceleration Time (デセレーションタイム)**
ホーンスピーカーの回転減速時間を設定します。
- ▶ **Filter (フィルター)**
ホーンスピーカーの周波数特性を設定します。
- ▶ **Directivity (ディレクティビティ)**
ホーンスピーカーサウンドの指向性を設定します。

4 ▶ ドラム設定 (DRUM)

- ▶ **Acceleration Time (アクセラレーションタイム)**
ドラムスピーカーの回転加速時間を設定します。
- ▶ **Deceleration Time (デセレーションタイム)**
ドラムスピーカーの回転減速時間を設定します。
- ▶ **Filter (フィルター)**
ドラムスピーカーの周波数特性を設定します。
- ▶ **Directivity (ディレクティビティ)**
ドラムスピーカーサウンドの指向性を設定します。

Directivity (指向性) タイプ

メニューには以下の選択肢が用意されています。

- Horn: 反射板を装備したホーンの指向性です。
- Omni: 無指向性、音量変化は発生しません。
- Cardio: 一般的なカーディオイドパターンでホーンがオフ角になった際にキャンセル(音の打ち消し)効果が発生します。
- SoftCardio: ソフトバージョンのカーディオイドパターンで、オフ角になった際のキャンセル効果が発生しません。
- Unipolar: 双指向性で強い脈打ち効果が特徴です。
- Drum: サブビーム(サイドローブ)の少ないドラムスピーカーの指向性です。
- DrumCardio: 一般的なドラムスピーカーの指向性です。
- DrumCardio2: オフフェイズによるサブビーム(サイドローブ)が強いドラム指向性です。(ホーン設定では選べません。)
- DrumCardio3: 最もオフフェイズサブビーム(サイドローブ)が強いドラム指向性です。(ホーン設定では選べません。)

リンク

UVI

- ホームページ uvi.net/ 
- エフェクトプラグインインストールガイド [installing_uvi_effects_jp.pdf](#) 
- FAQ(良くあるご質問とその回答) uvi.net/faq 
- チュートリアルとデモビデオ youtube.com/ 
- サポート uvi.net/contact-support 

iLok

- ホームページ ilok.com/ 
- iLok License Manager ilok.com/ilm.html 
- FAQ(良くあるご質問とその回答) ilok.com/supportfaq 

*iLok.comのサービスは、全て英語のみです。

ROTARY

クレジットと謝辞

UVI プロデュース

DSP設計

Rémy Muller

ソフトウェア

Olivier Tristan

Rémy Muller

GUIデザイン

Nathaniel Reeves

プリセットデザイン

Alain Etchart

Damien Vallet

ドキュメント

Nathaniel Reeves

Garrett DeMartinis

Kai Tomita



UVI.NET